

## 第3章

# カーペットを学ぶ



# 1 カーペットの歴史

## 1 3500年もの歴史 ペルシャで誕生

カーペットの歴史は3500年もの昔にまでさかのぼることができます(5000年前という説もあります)。日本がまだ縄文時代の頃、ペルシャ絨毯の生産地として知られる、現在のイランあたりに「パイルのあるカーペット」が発祥しました。ペルシャ絨毯はシルクロードを経てインドや中国、日本にもたらされ、十字軍の度重なる遠征(11~13世紀)などによりヨーロッパ諸国に伝わりました。日本の歴史にカーペットが初めて登場するのは239年で、中国・魏の明帝から邪馬台国の女王・卑弥呼に毛氈(もうせん)と思われるものが贈られたとされています。



### 現存する世界最古の絨毯

南シベリアのアルタイ山中の古墳から出土した「パジリク絨毯」(紀元前5世紀頃のものとは推定)がよく知られています(右写真)



## 2 機械織りカーペット隆盛 タフテッドカーペットの登場

手づくりだったカーペットを機械で作るようになったのは、18世紀のヨーロッパで、産業革命の進展と共にウィルトン、アキスミンスターなどの近代的な機械織りカーペットが生み出されました。

20世紀に入ると織りカーペットの生産量はますます増え、カーペットを部屋一杯に敷きつめるウォール・トゥ・ウォール(壁際から壁際まで)という敷き方が流行。織り方の研究も進み、1950年代には同時に2枚のカットパイルカーペットを作ることができるフェイス・トゥ・フェイスカーペット織機が登場しました。

現在主流のタフテッドカーペットの起源は、1895年頃、米国のキャサリン・エバンス夫人が綿布に綿糸を刺してパイルを形成して作ったベッドカバーにあります。1940年以降、このパイル形成技術に応用した高速・省力マシンでタフテッドカーペットは大量生産され、多彩な柄出し機構も次々に生まれたことで、デザイン性も飛躍的に向上。その後、カーペットは一般家庭を中心に広く普及していくことになります。

不織布の一種であるニードルパンチカーペットは、1900年ごろに開発されました。フラットな表面形状だけでなく、ヘアタイプや起毛タイプ、柄物なども作れるため、用途は大きく広がっています。

### 3 日本のカーペット工業

#### 縄文～奈良時代

日本における敷物の歴史は古く、縄文時代の土器の文様からすでに、織る、編む、組むといった技法があったことが分かり、植物を素材とした「こも」「むしろ」のような敷物が作られていたと考えられています。そして奈良時代の後期には、畳の原型が登場します。

#### 江戸時代

パイルのある敷物が我が国で作られるようになったのは、江戸時代に入ってからであり、緞通の製法は元禄年間に九州の鍋島藩にもたらされたのが最初で、その後、赤穂、堺、山形の各地に広がりました。緞通の名は中国語の毯子（タンツ）に由来しているといわれています。

#### 明治～昭和

明治以後、洋風建築の増加にともない、西欧風の機械織りパイル敷物の需要が出てきました。この敷物がウィルトン、タペストリー、アキスミンスター等のカーペットであり、明治より大正にかけて輸入されたこれらの外国製のカーペットは、「じゅうたん」という名で呼ばれました。中国語の地毯（ティータン）がその名の由来といわれています。

1889年（明治22年）、欧米のインテリア敷物を収集していた高島屋4代目の飯田新七がウィルトン織、ブラッセル織などのカーペットの試織を大阪・住吉の住江織物の前身、村田工場（村田伝七）に命じました。この頃、日本毛織なども織じゅうたんを生産しました。また、住江織物は農商務省よりの払い下げ機械によってセニールアキスミンスターカーペットを作り、1927年（昭和2年）にはイギリスからスプールアキスミンスター織機を、翌年にはドイツから3m巾のシングルウィルトン織機をそれぞれ輸入して生産をはじめました。さらに、同社は、1954年（昭和29年）、アメリカからタフト機を購入しタフトカーペットの生産を開始しました。

また、1970年（昭和45年）、大阪で開催された万国博覧会で、オランダ館の床にタイルカーペットが敷かれ、注目を集めました。そして、輸入期間を経て、1980年（昭和55年）には国産化され、急速に市場が拡大しました。

## 2 カーペットの分類

### I 製造方法による分類

カーペット (じゅうたん)	パイルがある	織り	手織り	① 絨通 (だんつう)
			機械織り	② ウィルトンカーペット フェイス・トゥ・フェイスカーペット ③ アクスミンスターカーペット
		刺繍	手による	ハンドタフト (フックドラグ)
			機械による	④ タフトドカーペット
		接着		ボンデッドカーペット 電植カーペット コードカーペット
			編み	ニットカーペット
			圧着	ニードルパンチカーペット (ハーア調、ペロア調)
	パイルがない	織り		平織り
		縫い付け		チューブマット
		圧着		⑤ ニードルパンチカーペット (フェルト調) 毛氈 (もうせん)



① 絨通

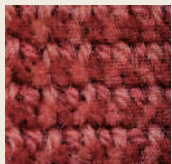


トルコ結び

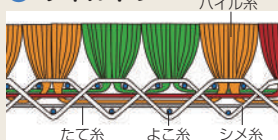


ペルシャ結び

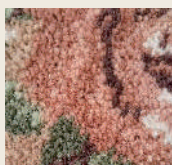
最も歴史の古い手織りじゅうたんで、綿やウールなどの天然繊維を用いて、人の手で一本一本結んでカットしながら織り上げていく手法です。強度と柔軟性に優れ、使用年数としては、孫の代までといわれるくらい、何十年と使えるのが特徴です。



② ウィルトン



パイル糸と数本の地組織糸を同時に織ってパイルを作る手法で、1～5色のパイル糸を使うことができます。ジャカードと呼ばれる柄出し装置を用いて、カットやループなど様々なデザイン表現が可能です。

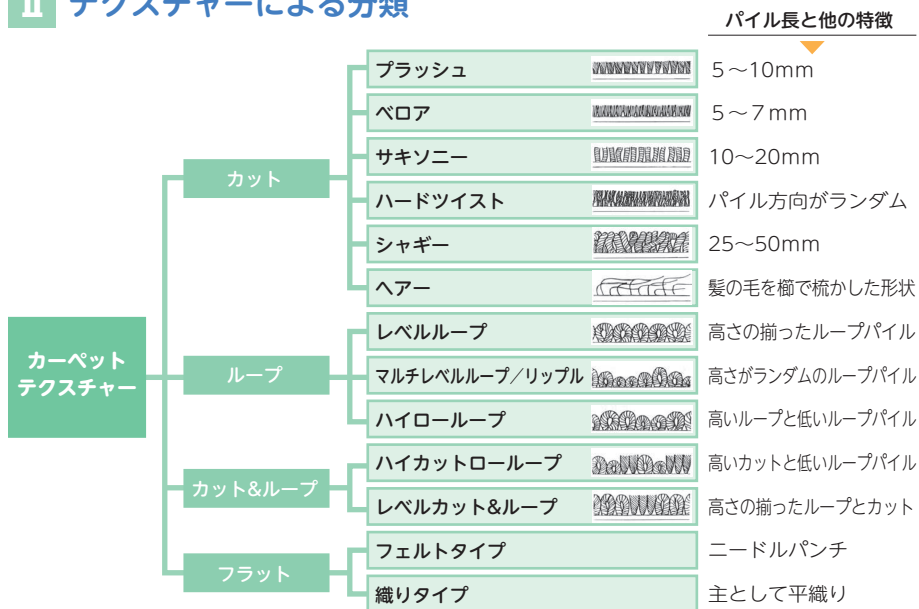


③ アクスミンスター

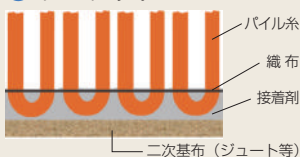


指定した色のパイル糸を一本一本横一列にセットし、パイル長の分だけ摘み出し、切り揃えて織口に運び織り込む手法です。12色まで使える織機と20～30色まで可能な織機とがあり、表現としてはカットパイルに限定されます。

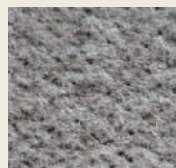
## Ⅱ テクスチャーによる分類



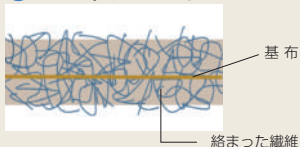
### ④ タフテッド



基布にパイル糸を通した針を刺し込んでいく手法で、形態は丸巻きとタイル、折り畳みなどがあります。高速マシンで大量生産できることから、カーベットの主流になっています。カットやループはもちろん、様々なデザイン表現が可能です。



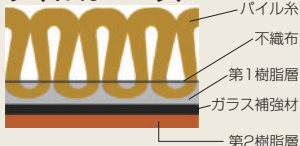
### ⑤ ニードルパンチ



ポリエステルやポリプロピレンの短繊維をウェーブ状に積層して、トゲ付きのニードルで突き刺して繊維を絡めながらフェルト状にします。パイルはなく比較的安価なカーベットで、展示場などによく使われています。



### タイルカーベット



従来の丸巻きではなく、四角いパネル状(50cm角など)にカットされたもので、並べる感覚で敷くことができます。表面生地は④のタフテッドが中心で、接着層と裏貼り材は塩ビ樹脂が主流となっています。

## 3 繊維素材の特性

### ● カーペットに使用される主な繊維素材

カーペット用繊維	天然繊維	動物繊維	ウール
			絹
		植物繊維	綿
			麻
	化学繊維	再生繊維	レーヨン
		合成繊維	アクリル
			ナイロン
			ポリエステル
			ポリプロピレン

カーペット用の糸の構造には、紡績糸（スパン糸）と呼ばれる短繊維（5～15cm）を束ねて引き揃えた糸と、フィラメント糸（BCF糸）と呼ばれる、連続した長繊維を束ねて糸にした2つのタイプがあり、違いは、前者は遊び毛が出やすいのに対し、後者はほとんど出ません。（紡績糸でも、ある程度遊び毛が出た後は、次第に出なくなります）。ウールとアクリルは紡績糸のみで、ナイロン、ポリプロピレン、ポリエステルには両方あります。[図1]

#### 繊維の燃え方の違い

繊維の種類	着火のしやすさ	燃え広がりやすさ
難燃アクリル	縮れて燃え、炎を取り去ると直ちに消火	極めてゆるやか
ウール	縮れて燃え、着火しにくい	
ナイロン	溶けて燃え、着火しにくい	
ポリエステル		
ポリプロピレン	熔融、着火しやすい	ゆるやか
アクリル		
綿、レーヨン		速い

※防災（難燃）性能は、着火した火炎の広がりやすさを重視しますが、燃えやすいものについては、カーペット製造時に、繊維組成の工夫や防災処理により、防災品となります。

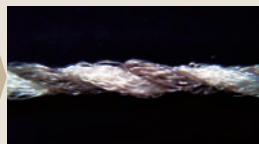
#### カーペット原糸のタイプ

[図1]

紡績糸



フィラメント糸



## カーペット用繊維としてよく使用される5大繊維

### ウール

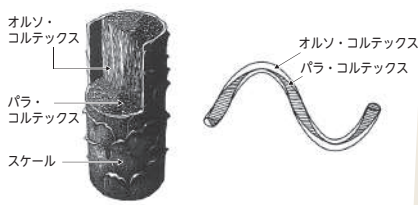
カーペット用のウール（羊毛）は、主としてニュージーランド、イギリスの原毛が使用されています。特徴は、吸放湿性、汚れにくさ、汚れの落としやすさ、保温性、弾力性に優れた性能を持つこと。これらは、スケールと呼ばれる鱗片状のもので覆われていることや、天然の縮れ（クリンプ）があることに由来するところが大きいといわれています。〔図2〕

### ウールの特性

〔図2〕

- スケールによる吸放湿性

- クリンプによる保温、弾力性



### アクリル

ふっくらとやわらかく、弾性や保温性が良いなど、ウールに似た風合いを持っています。また、日光に対し劣化も少なく、耐薬品性があり、カビや虫に侵されません。鮮明な色合いが得られ、色あせしにくい一方で、遊び毛が出やすく、復元性に乏しいという弱点もあります。難燃性も低いので、改質タイプの「アクリル系」（難燃アクリル）が混紡されているカーペットが安心です。

### ナイロン

フィラメント系使いが多く、他の繊維に比べてへたりや擦り切れに強く、大変丈夫です。そのため、オフィスビルやホテル、公共施設など土足で使用される用途を中心に幅広く使用されます。また、油やカビに強く虫害を受けないことも利点ですが、帯電しやすい素材なので、制電糸が混入されたカーペットが安心です。

### ポリエステル

紡績系使いが多く、合成繊維の中ではもっとも熱や日光、薬品にも強い特性があります。また、カビや虫に侵されず、擦り切れにも強いですが、耐へたりや難燃性にはやや弱いところがあります。主にピース・ラグや折り畳みカーペットなどに用いられています。

### ポリプロピレン

ナイロンと同様にフィラメント系使いが多く、吸水性がゼロなので、汚れが付着しにくい傾向があります。また、酸・アルカリなど化学薬品やカビなどに強く、耐油性もあります。染料となじまず、すべて原着（原液着色）ですので、色あせに対しては優れています。最大の欠点はへたりやすいことですが、繊維量である程度はカバーできます。用途としては、ニードルパンチやタイルカーペットに利用されています。

## 4 耐久性

床材は、常に体と接していることから丈夫で安全でなければなりません。使用中に繊維が抜けてきたり擦り切れたり、陽のあたる箇所が変色したり、すぐにへたるようでは快適な暮らしが失われます。また安全面では防災品であることも重要です。用途や目的によって、必要とされる性能は大きく変わります。素材の特性を正しく知り、暮らしに合わせて優先すべき性能を考慮しながら、可能な限り丈夫で長持ちするものを選びましょう。

### 繊維素材別 特性比較の目安

(代表的な糸種で平均的なパイル量での比較)

<div>素材</div> <div>特性</div>	ウール (紡績糸)	アクリル (紡績糸)	ナイロン (フィラメント糸)	ポリエステル (紡績糸)	ポリプロピレン (フィラメント糸)
足触りの良さ	◎	◎	○	○	△
へたりにくさ、 弾力性	○	△	◎	△	△
汚れにくさ、 汚れの 取れやすさ	○	△	△※	○	○
保温性、 断熱性	◎	○	△	△	△

評価の基準 ◎：非常に良い ○：良い △：普通

※：はっ水加工処理品は○



## 繊維素材の特性以外で耐久性に影響を与える主な因子

- ① 繊維量（＝パイル目付：1㎡あたりのパイルの質量）
- ② パイル長とパイル密度の相互関係（同じ目付の場合）
- ③ テクスチャー（パイルの形態）
- ④ 施工方法
- ⑤ 色あせ
- ⑥ 汚れ など

左表でも少し触れていますが、へたりの程度に関しては、① 繊維量が多い程、② パイル長が短い程、パイル密度が多い程へたりにくいため、外観的には変化が見られません。③ のテクスチャーでは、カットパイルよりループパイルの方が、また、ハイローよりレベルの方が、耐久性に優れています。

④ の施工方法については、下地にはアンダーフェルトやウレタンクッション材など、柔らかいものを敷く方がパイルはへたりにくく、耐久性が向上します。（45頁参照）



カットパイル(レベル)



ループパイル(レベル)



ループパイル(ハイロー)

⑤ の色あせに関しては、素材の特性よりも、繊維への着色方法が大きく影響しています。一般に、糸を作る段階で顔料を練り込んでいる場合（原液着色）は、色あせしにくく、糸や生地段階で染料で染める場合は、原液着色よりは多少劣りますが通常の使用方法では、いずれも遜色ないレベルといえます。直射日光が毎日強くあたる場所や、車の排気ガス等の特殊な空気環境になった場合は、色あせが生じるケースもあります。

また、耐久性の観点において、⑥ の汚れが取れなくなったときに寿命だ、と感じる人もいでしょう。常日頃から適正なお手入れを心がけていれば、永くきれいに保つことができます。（46～49頁参照）

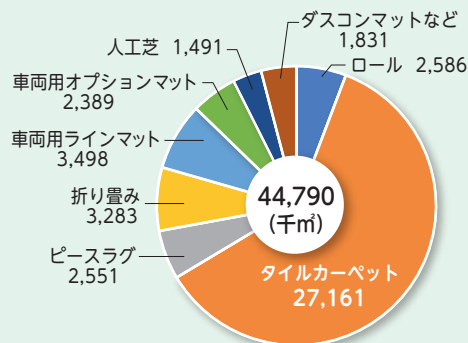
## 5 カーペットの市場規模

日本カーペット工業組合(JCM)所属のカーペットメーカーは、タフテッド、織(ウィルトン、アキスミンスター)、ニードルパンチなど様々な製法でカーペットを生産しています。

年間生産量は、主力のタフテッドカーペットが44,790千㎡で、織じゅうたんは410千㎡となっています(いずれも2019年実績)。タフテッドカーペットの生産量を用途別[図1]でみると、近年はタイルカーペットが多くを占め、以下、車両用マット、家庭用カーペット(ピースラグ、折り畳み)、業務・家庭用ロール、各種マット類、人工芝と続きます。

また、素材別[図2]でみると、ナイロンとポリプロピレン(いずれもフィラメント糸)で全体の8割以上を占めています(2019年)。26年前(1993年)は紡績糸(アクリル、ポリエステル、ウールなど)とフィラメント糸の比率は同程度でしたが、紡績糸の主力用途であった家庭用カーペットの減少、原材料の価格高騰などが影響し、フィラメント糸へのシフトが進みました。

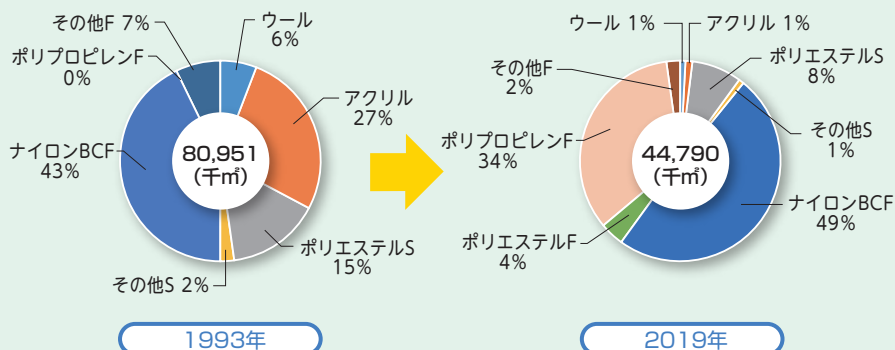
■用途別タフテッド  
カーペット生産量(2019) JCM調べ [図1]



(単位: 千㎡)

■素材別タフテッドカーペット生産量の推移 JCM調べ

[図2]



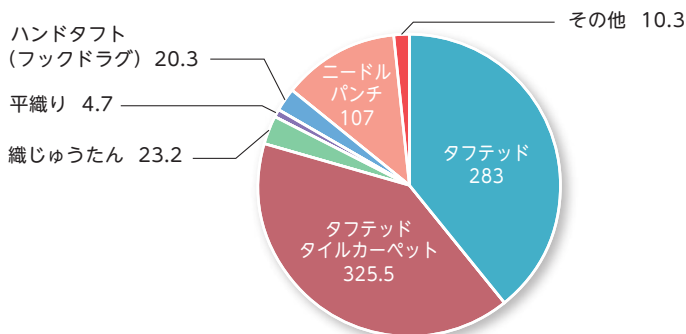
S=スパン糸(紡績糸) F=フィラメント糸

カーペットの市場規模は、一般社団法人日本インテリアファブリックス協会（NIF）の調査によると、2019年度は卸売ベースで1,818億円でした。ここ数年は同程度で推移しており、その内訳は国産品が774億円、輸入品が1,044億円という状況です。

国産品を品別でみると〔図3〕、タフテッド283億円（うち車両用50.3億円）、タフテッドタイルカーペット325.5億円、織じゅうたん23.2億円、平織り4.7億円、ハンドタフト（フックドラグ）20.3億円、ニードルパンチ107億円、その他10.3億円となっています。

■ 国産カーペット市場規模（2019） NIF調べ

〔図3〕



(単位：億円)

国内のカーペット生産・市場規模は全体的には横ばいで推移していますが、家庭用に関しては消費者の“カーペット離れ”や安価な輸入品などが影響し、カーペットメーカーは苦戦しています。

こうした状況を変えるべく、当組合では、日本最大のインテリア見本市「JAPANTEX」への出展をはじめ、新たな角度からカーペットの魅力を分析したり、消費者に向けたPR活動を展開したりするなど、国産カーペットの需要振興に取り組んでいます。



カーペット需要振興パンフレットより

## 6 品質・機能性マーク-1

### 品質マークの解説



- 経済産業省
- 日本産業規格（JISマーク）

パイル目付けや摩耗量、外観欠点などの品質基準に合格した製品に付与され、対象は、織じゅうたん（機械織り）、タフテッドカーペット、タイルカーペットの3種類。



抗菌防臭加工

- （一社）繊維評価技術協議会
- 抗菌防臭加工（SEKマーク：青）

防臭の目的で、繊維上で菌の増殖を抑制する加工が施された製品に付与される。防臭レベル（菌の抑制レベル）や加工剤の安全性に対して基準がある。



制菌加工

- （一社）繊維評価技術協議会
- 制菌加工（SEKマーク：橙）

生活環境やケア環境の向上目的で、繊維上で菌の増殖を抑制する加工を施された製品に付与される。一般家庭向けの繊維製品が対象。



制菌加工

- （一社）繊維評価技術協議会
- 制菌加工（SEKマーク：赤）

上記と同目的であるが、対象菌種は上記より多い。医療福祉関連で使用する繊維製品が対象。



消臭加工

- （一社）繊維評価技術協議会
- 消臭加工（SEKマーク：消臭加工マーク）

対象ガスには、汗臭、加齢臭、排せつ臭、タバコ臭、生ごみ臭、アンモニア臭の6種類があり、ある一定基準のガス濃度減少が求められる。



F<sup>IRA</sup>☆☆☆☆

- インテリアファブリックス性能評価協議会
- VOC自主基準（ホルムアルデヒド対策マーク）

国土交通省が特定の建材（カーペットは除く）に義務づけたホルムアルデヒドの放散量の制度に合わせて、上記協議会がカーテンとカーペットに対して自主的に基準化したもの。濃度レベルによって3ランクに分けられている。良いものから順にF☆☆☆☆（☆4つ）、F☆☆☆（☆3つ）、F☆☆（☆2つ）。



統一マーク

● インテリアファブリックス性能評価協議会

● 防ダニ加工（防ダニ加工統一マーク）

防ダニ効果（増殖抑制効果または忌避効果）の性能基準に合格した製品に付与される。



● 総務省・消防庁、(公財) 日本防災協会

● 防災性能（防災マーク）

消防法に基づき、着火後の「燃え広がり難さ」に於いて、一定の基準を合格した製品に付与される。



防炎

● (一社) 日本インテリアファブリックス協会

● 防災性能（NIF「防炎」マーク）

上記消防法の基準を合格した製品に付与される。



制電

● (一社) 日本インテリアファブリックス協会

● 制電性能（NIF「制電」マーク）

帯電防止レベルを3kV以下（手を針で刺された感じ、チクリと痛み程度）にまで抑えた製品に付与される。



グリーン購入法適合商品  
インテリアファブリックス  
産業活性化協議会

● インテリアファブリックス産業活性化協議会

● 環境省・グリーン購入法適合商品（上記協議会でマークを制度化）

再生材料の種類や使用混率に基準が設けられ、適合した製品に付与される。タフテッドカーベット、タイルカーベット、織じゅうたん、ニードルパンチカーベットが対象。



● ザ・ウールマーク・カンパニー

ウール混用率や防虫効果などの基準に合格した製品に付与される。ウールマーク・ファミリーには、ウール混用率により3タイプある。新毛100%のウールマーク（WOOLMARK）、新毛の混用率が50%以上のウールマークブレンド（WOOLMARK BLEND）、そして、新毛30～49.9%のウール・ブレンド（WOOL BLEND）。新毛とは、羊から刈られたままの毛を使用しているという意味で、再生のウールではない。



● 英国羊毛公社

● ステッキマーク

英国羊毛が全ウールの50%以上かつ、ナイロン等の化学繊維が20%以内で、残り80%の天然繊維のうち80%がウールであること。その他、パイル重量などの基準がある。



● ニュージーランド羊毛公社

● ファーンマーク（「シダの葉」マーク）

高品質のニュージーランド羊毛を使用し、厳しい品質基準に合格した製品に付与される。インテリア、寝具、アパレルが対象。

## 6 品質・機能性マーク-2



●環境省、(公財) 日本環境協会

●エコマーク

有害物質含有等の安全性を満たした上で、再生材料の含有率を規定し、それに合格した製品に付与される。



●日本カーペット工業組合

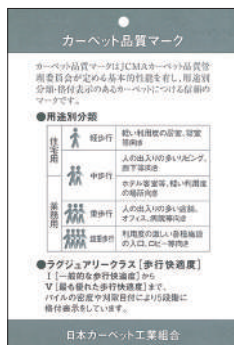
●カーペット品質マーク(カーペット用途別分類格付けシステム)

使用用途・目的に応じて分類するとともに、歩行頻度・場所に応じて客観的な基準により格付けを行っている。消費者の目に見える形で情報提供し、適性商品を迅速かつ確実に入手できるようにすることが狙い。消費者の誤使用も回避できる。

### 「カーペット品質マーク」のラベル見本



ラベルの表面



ラベルの裏面



「用途別分類」の表示

「ラグジュアリークラス」の表示

以上に挙げた品質マークは、あくまで公的機関で一定の基準に合格したものに對し、品質認証が与えられるマークであって、これ以外に各カーペットメーカーの責任の下に機能加工を行い、性能を保証して独自のマークを付けている場合も多くあります。これについては、その性能レベルを確認することをおすすめします。例えば、よく見かけるのは、「防汚」「防音」「遮音」「クッション」「遊び毛防止」「すべり止め」などで、「抗ウイルス加工」もあります。

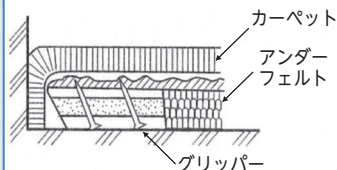
## 7 施工方法

カーペットの敷き方は、大きく分けて、消費者が自ら敷くことのできる「置き敷き」と、工具などを用いて部屋全面に施工する「敷き詰め」があります。後者には、専門的な施工技術（下記4つの工法）が必要で、施工業者に依頼します。

### グリッパー工法

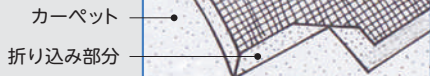
ピンが上向きに取り付けられた棒状木片（グリッパーと呼ぶ）を、部屋の周囲に沿って床に固定する。そこに丸巻きカーペットをシワなく全周に亘ってピンに引っ掛けて仕上げる施工法で、カーペットの下には、クッション性のある、アンダーフェルト（8～10mm厚）を下敷きしておく。

グリッパー工法断面図



### 折込工法

床とカーペットを接着固定しない工法。フローリングの上にアンダーフェルト（壁際から5cm開ける）を敷き、周囲を5cmほど折り込んだカーペットを置く。下地を傷めないで原状回復もできる。



### 全面接着工法

モルタルや木質下地に全面に接着剤を塗布して、貼り付ける工法。

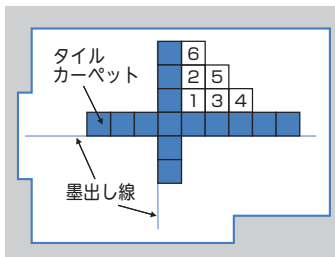
### タイルカーペット貼り工法

モルタルや木質下地にタイルカーペット施工専用の粘着剤を床全面または、部分的に塗布して貼り付ける工法。何度も貼ったり剥がしたりができる。壁際はタイルカーペットをカットする。

フローリング上に貼る場合は、専用の両面テープで簡単に貼ることもできる。

- ①直角に墨出し線を引く
- ②その線に沿って十文字に並べる
- ③その後、番号順に並べる

タイルカーペット貼りの手順



## 会員企業一覧

## 会員企業一覧

## 日本カーペット工業組合会員企業一覧

(2021年3月現在)

会社名	本社所在地	ホームページ
株式会社オーノ	大阪府堺市南区原山台5丁15番1号	ohnorug.co.jp
大杉繊維株式会社	大阪府和泉市唐国町2丁目4-41	
株式会社小野ダスキン	兵庫県小野市粟生町字大畑1936-55	
株式会社川島織物セルコン	京都府京都市左京区静海市原町265	kawashimaselkon.co.jp
サンケミカル株式会社	岐阜県海津市南濃町津屋1511番地	sunchemi.co.jp
住江織物株式会社	大阪府大阪市中央区南船場三丁目11番20号	suminoe.co.jp
スミヨシ株式会社	大阪府河内長野市原町4丁目7-1	
ダイニック・ジュノ株式会社	東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル7F	dyjuno.co.jp
田島ルーフィング株式会社	東京都千代田区岩本町3-11-13	tajima.jp
辻川産業株式会社	大阪府和泉市唐国町2丁目15-34	
株式会社ツジトミ	滋賀県東近江市猪子町85番地	tsujitomi.com
トア紡マテリアル株式会社	大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号 クリスタルタワー18F	toabo.co.jp
東リ株式会社	兵庫県伊丹市東有岡5丁目125番地	toli.co.jp
東レ・アムテックス株式会社	大阪府富田林市西板持町8-1-65	toray-amtecs.jp
西川ローズ株式会社	滋賀県甲賀市甲南町葛木30-20	nishikawa-rose.co.jp
日本カーペット工業株式会社	大阪府富田林市大字佐備1113-1	nihon-carpet.co.jp
日本絨氈株式会社	大阪府堺市西区築港浜寺西町8番12	japancarpet.com
長谷虎紡績株式会社	岐阜県羽島市江吉良町197番地1	hasetora.co.jp
原田繊維株式会社	大阪府八尾市跡部本町3丁目4-44	
樋上敷物株式会社	大阪府堺市中区東山396	higami.co.jp
株式会社フジコー	兵庫県伊丹市行基町1-5	fujico-jp.com
株式会社プレステージ	大阪府和泉市伯太町2丁目423	
堀田カーペット株式会社	大阪府和泉市観音寺町531	hdc.co.jp
村上敷物株式会社	大阪府堺市南区原山台5丁17番7号	primula.co.jp
山本産業株式会社	大阪府和泉市黒島町1丁目3番16号	yamasanworld.com
吉田房織物株式会社	大阪府泉大津市板原町1丁目13番36号	yoshidafusa.co.jp
ヨシミツ毛織株式会社	大阪府泉大津市板原町1丁目13番3号	yoshimitu.co.jp
ワールド敷物加工株式会社	大阪府岸和田市今木町70-1	world-sk.co.jp



## 参考文献

「IDB カーペット年鑑」 株式会社 IDB (2019)  
「健康に暮らすための住まいと住まい方エビデンス集」健康維持増進住宅研究会ほか (2013)  
「新時代のカーペットメンテナンス」 (一財)建築物管理訓練センター編 (2009)  
「国交省監修 建築工事監理指針 平成28年度版(下巻)」 (一社)公共建築協会 (2016)  
「特別展 堺織通ものがたり」 堺市博物館 (2017)  
「SEKマーク繊維製品認証基準」 (一社)繊維評価技術協議会 (2020)  
「カーペット入門編(17版)」 (一社)日本インテリアファブリックス協会 (1998)  
「ゆかを考える一床材としてのカーペット」日本カーペット協会・技術委員会・床性能比較分科会 (1992)  
「新版カーペットハンドブック」日本カーペット工業組合編 (2004)  
「新・カーペットはすばらしい」日本カーペット工業組合 (2010)  
(公財)日本環境協会・エコマーク事務局ホームページ  
「建築物の遮音性能基準と設計指針」日本建築学会編 (1997)  
「居住性からみた床のかたさの評価方法に関する研究(その1)(その2)」日本建築学会構造系論文報告集  
「床材の床衝撃音低減性能の表現方法に関する検討委員会報告書」 (一財)日本建築総合試験所 (2008)  
「50周年記念誌」日本敷物団地協同組合 (2014)  
「床仕上げ施工科テキスト カーペット編」日本室内装飾事業協同組合連合会 (1994)  
「業界マイスターに学ぶ せんの基礎講座」 (一社)日本繊維技術士センター編 (2016)  
「賢く美防災・災害に負けない豊かな住まいとインテリア」町田ひろ子著 (2013)  
「三重大学大学院生物資源学研究所 紀要」 (2016)

## 制作

日本カーペット工業組合 広報委員会 人材開発部会

## 印刷

やまかつ株式会社

## 編集委員

<委員長>

堀田 繁光 堀田カーペット株式会社

<編集責任者>

佐藤 弘幸 東リ株式会社

<編集メンバー：五十音順>

川合 秀幸 インビスタジャパン合同会社

窪田 衛 日本カーペット工業組合

真田 勝己 ワールド敷物加工株式会社

園田フジ子 英国羊毛公社

谷口 彰男 ワールド敷物加工株式会社

西山建太郎 株式会社IDB

反井 守 吉田房織物株式会社

東 美恵子 株式会社EAST-1

比奈 一郎 比奈紡績株式会社

袋井 啓勝 株式会社スミノエ

渡部 淳子 株式会社ユニバーサルトレジャー

## 日本カーペット工業組合 発行書籍一覧

書籍タイトル	発行年	サイズ
タフテッドカーペット手引書	1970	A5
カーペット事典	1982	A5
カーペット品質規格・基準集	1992	B5
ゆかを考える一床材としてのカーペット	1992	B5
カーペットと小児喘息との関係について	1995	B5
カーペット辞典	1996	B5
カーペットはすばらしい	1997	A4
新版カーペットハンドブック	2004	B5
日本カーペット工業史	2008	B5
新・カーペットはすばらしい	2010	文庫判
新訂・カーペットはすばらしい	2021	A5

## 編集後記

2016年の春、業界を代表するプロフェッショナル28名によるJCM(日本カーペット工業組合)広報委員会が発足し、カーペットの魅力を発信していこうという取り組みが本格的にスタートしました。

テレビや新聞記事では、相変わらず「カーペットは避けましょう」と言わんばかりの論評がある一方で、地道な活動が功を奏し、NHK番組「チコちゃんに叱られる!」への出演や「ガッテン!」からの取材など、情報を発信するメディア側の方々に、カーペットの良さを理解してもらえる機会が徐々に増えてきました。

一番うれしかったのは、「カーペットによって住人の騒音トラブルが解決できました」という感謝の手紙が、とあるマンションの管理組合からJCMに届いたことです。よろこびとともに、「どうしてもっとアピールしないのですか?」と「叱られ!」しました。

「多様化」がスタンダードの時代、インテリアの分野では、いまだに住宅の床材はフローリングで占められています。ここは一度、思いきって暮らしのすべての床材に、踏み心地の良いカーペットを敷きつめてみてはいかがでしょうか。足元から、今よりもっと豊かな暮らしが感じられるはずです。

この「新訂 カーペットはすばらしい」には、そうした願いが込められています。

(佐藤)



## 新訂 カーペットはすばらしい

2010年11月 初版発行 2021年3月 改訂



発行元 日本カーペット工業組合

〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋 2番5号  
マイドームおおさか 5F

TEL. 06-6809-2868 FAX. 06-6809-2869

URL: <http://carpet.or.jp> E-mail: [info@carpet.or.jp](mailto:info@carpet.or.jp)



本書を無断で複写複製することは著作権法上での例外を除き禁じられています。

定価 1,000円(税込)